

医師のご紹介



昭和大学先端がん治療研究所 所長
腫瘍内科 兼担教授
鶴谷純司 医師

◆専門

がんの薬物療法、乳がん、臨床試験、治験、緩和ケア

◆メッセージ

主ながんの薬物療法を担当する内科医です。がんによる様々な症状にお困りのことと思います。罹患してからも今まで通り安心して暮らせるようにサポートさせていただきます。患者さんの状況に応じた最善の治療をお勧めいたします。お気軽にご相談ください。

◆外来日/場所

毎週火曜 午後
昭和大学病院 中央棟3階 ブレストセンター

◆職歴等

1995年 長崎大学医学部卒業 同第二内科 研修医
1997年 国立療養所武雄病院 内科医員
1999-2001年 近畿大学医学部第四内科 助教（肺癌、乳癌の化学療法）
2001年 長崎大学医学部附属病院 第二内科 医員（肺癌グループ）
2002-2006年 National Institute of Health (NIH), National Cancer Institute (NCI),
Medical Oncology Branch, Research Fellow, Dr. Phillip Dennis
のもと、肺癌、乳癌を中心とした固形がんの基礎研究に従事
2006年 北九州市立八幡病院内科 医長（救急医療に従事）
2007年 医学博士
2008年 近畿大学医学部腫瘍内科 講師
2009年 西日本がん研究機構 個人賞 受賞
2013年 Lynn Sage Cancer Symposium, travel award (Chicago) 受賞
2014年 近畿大学医学部腫瘍内科准教授 乳癌、肺癌を中心とした
固形癌の診療、研究
2015年 近畿大学医学会賞 受賞
2018年 昭和大学先端がん治療研究所長、医学部腫瘍内科教授